



明けましておめでとございます。市民の皆さまにおかれましては、気持ちも新たに、希望にあふれる新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

年頭に当たり、本年が皆さまにとって明るく、幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

選ばれるまち 宇都宮へ

宇都宮市長 佐藤 栄一

魅力あるまちづくり 日本一と自慢できる主な事業

■自転車のまち宇都宮

アジア最高位の大会「ジャパンカップサイクルロードレース」や市内大通りでの周回型レース「ジャパンカップクリテリウム」の開催、日本初の地域密着型プロロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の活動拠点であることなどを生かした、人や環境に



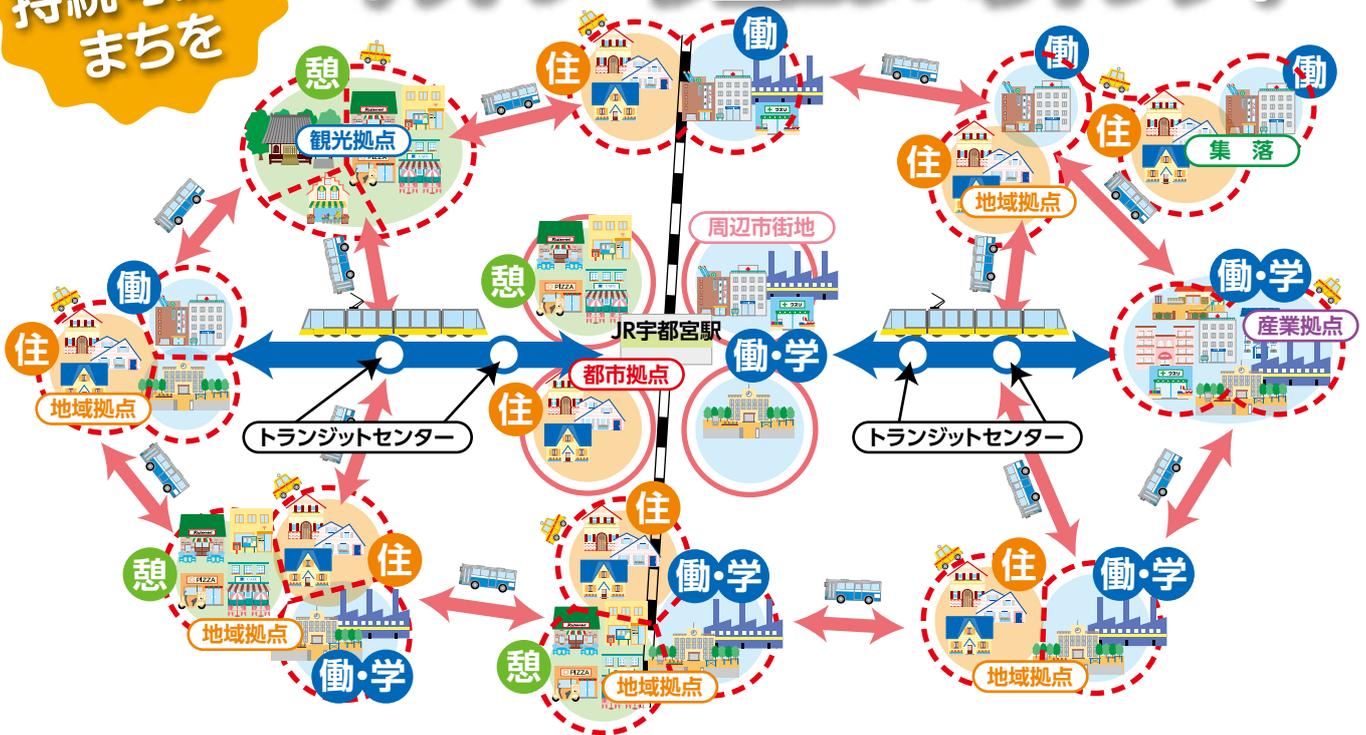
優しい自転車を活用したまちづくりを推進。

■子どもの読書環境 全国でもトップクラスの小・中学生読書量や中核市随一の図書館児童書蔵書数・貸し出し点数を誇り、全小・中学校への学校図書館司書の配置をはじめ、さまざまな図書館サービスを充実させた子ども向けの読書環境を整備。

■宮の朝活 仕事などで忙しい世代が、他に例を見ない早朝からの時間を有効に使い、最新の時事問題などを学ぶ教養講座を開催。

100年先も
持続可能な
まちを

ネットワーク型コンパクトシティ



◀特別PR担当ミヤリ

車が運転
できなく
なっても
安心だね

本市では、これまで日本一と誇れる、さまざまな事業を積極的に行い（2ページ下の表）、その結果さまざまな指標で評価をいただ

ん。 「宇都宮に企業として進出したい」と思ってもらえるような、「選ばれる」まちにならなければなりません。

人口減少問題が大きく取り上げられ、本市でも平成29年をピークに人口が減少すると推計しています。人口減少の時代に、宇都宮が生き残っていくためには、「宇都宮に住み続けたい」「宇都宮に企業として進出したい」と思ってもらえるような、「選ばれる」まちにならなければなりません。

宇都宮を選んでもらうために 全国に誇れる魅力あるまちづくり

持続発展できる都市構造を
ネットワーク型
コンパクトシティ

「選ばれる」まちとなるためには、これからの人口減少に対応した便利で暮らしやすい都市の構造に変えていくことが重要です。

これまでの自動車の生活を支えられた「まちの形」から、自動車が運転できなくても誰もが自由で快適に移動できる公共交通でつながった、身近な地域にあるコンパクトな拠点で日常生活を便利に送ることができ「まちの形」に変えていくこと、それが宇都宮の目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」です。

このまちづくりを進めることで、市民の皆さんが、「住み続けているところ」「生まれ育ったところ」「移り住んだところ」で、いつまでも快適な生活ができるような宇都宮を実現します。

宇都宮の実力 ランキング

■子育てに優しいまち 産み、育てやすい・医療の充実

■賃貸で人気の駅 よく検索された賃貸物件情報から算出

■住みよさ度 安心度・利便度・快適度・富裕度・住居水準充実度

全国 **2位**

関東 **1位**

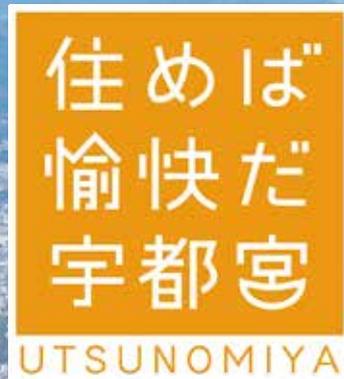
2年連続 全国 **1位**

「AERA with Baby 2009年号」より全国95自治体中

不動産住宅情報サイト「スマイティ」賃貸で人気の駅ランキング関東編より（平成24年）

東洋経済別冊「都市データパック2014年版」より人口50万人以上の28都市中

選ばれるまち 宇都宮へ



本市への市民の誇りと市外からの憧れの獲得を

本市では、宇都宮での暮らしの愉しさを表現する「住めば愉快だ宇都宮」を合言葉に、市民参加型のオリジナル愉快ロゴマークやマスコミキャンペーン「ミヤリー」などを活用し、市民には「自慢できるまち」と、市外からは「行ってみたい、住んでみたいまち」と思ってもらえるよう取り組みを進めています。

そして昨年からは、「ダブルプレイス 地元2つ、幸せ2倍」をキーワードに、宇都宮と首都圏との2つの地域での生活を提案する、新たなイメージ戦略を始めました。

「ダブルプレイス（2地域生活）」とは、大都市と地方に仕事や暮らしの拠点を置き、その2カ所を行き来しながら充実した生活を愉しむライフスタイル。例えば、首都圏在住者が週末は宇都宮に来て自転車や畑仕事を楽しむ生活や、職場は首都圏でも住まいは宇都宮、またその逆の生活。形はさまざまですが、自分にとってより所となる場所を2つ持つことで、視野や人とのつながりに広がりが増えたと聞きます。東京とのアクセスが良く、程よく都会であり、自然もある「とこないなか」宇都宮だからこそ可能な生活スタイルです。

外からの視点で 宇都宮の良さを発信

今後、地方暮らしに興味を持つ首都圏在住者に、「ダブルプレイス」実践者などから見た宇都宮の魅力を伝えることで、本市への興味を喚起していきたいと考えています。

同時に、この取り組みには、市民が気付きにくい「宇都宮の日常の生活の良さ」を市外から見たメリットとして発信することで、市民に宇都宮の魅力を「再認識」「発見」をしていただきたいという思いがあります。

市民の皆さんに、宇都宮に対する誇り、愛着がさらに醸成されることで、宇都宮が100年先も誇れるまちになることでしょうか。

宇都宮の実力 ランキング

■民力度 産業・消費（事業所数・新設住宅着工数など）

全国 **2位**

東洋経済別冊「都市データパック2014年版」より人口50万人以上の28都市中

■行政サービス水準 子育て・福祉・教育・公共料金など

全国 **2位**

「日経グローバルNo.115」(平成21年)より人口50万以上の26都市中

■食品小売価格 総務省「小売物価統計調査」から算出

全国 **1位**

「ヤングダイヤモンド別冊2008年4月号」より47都道府県庁所在地市中



イチゴ生産者

齋藤 龍介さん

(西東京市から下田原町へ)



ミヤリーが聞く

私が選んだ宇都宮

市外で仕事や暮らしを経験した人にとって、宇都宮はどういう存在なんだろう。

今回、東京で飲食店の店長をしていたけれど、農業者への転職を決めて、一家で宇都宮へ生活の拠点を移した齋藤さんに、宇都宮の魅力を聞いてみたよ。



子どもが伸び伸びと育つ豊かな環境と程よい距離感。どうして農業者になろうと思ったの？

身近な食べ物について、もっと良く知りたい、年を追うごとにスキルが上がり、一生継続けられる仕事に就きたいと思い、農業者を目指すことを決意しました。

宇都宮を選んだ理由を教えてください！

初めは北海道に行きたいと思っていました。しかし、妻は、実家や友達がいる東京に日帰りで行き来できる範囲ならという条件で転職を理解してくれたので、東京から近く、栃木の中でも田舎過ぎない便利な宇都宮を選びました。

齋藤さんの子どもにとって、宇都宮はどう？

ミニバスケットボールや野球などスポーツを始め、友達も増えて、明るくなったりのように感じます。東京では習い事をしている子が多く一緒に遊ぶことが少ないのですが、こちらでは放課後の「公園集合」は日常茶飯事。また、近所で魚釣り

もできて、親子で愉しめるまちです。

他にも東京との暮らしの違いってある？

私が引越しをしたのは、東日本大震災当日。電気・ガス・水道はつながらず、食べるものも持っていきませんでした。そんな中、近所の人やろうそくを持ってきてくれたり、研修先の先輩農家さんにおにぎりを持ってきてくれたりと、周りの人にとっても助けられたことを思い出します。

市民にとっては当たり前前の宇都宮、まだまだ気付いていない魅力がたくさんありそう！

人と人とのつながりって大事だね。

私が引越しをしたのは、東日本大震災当日。電気・ガス・水道はつながらず、食べるものも持っていきませんでした。そんな中、近所の人やろうそくを持ってきてくれたり、研修先の先輩農家さんにおにぎりを持ってきてくれたりと、周りの人にとっても助けられたことを思い出します。

他のにも東京との暮らしの違いってある？

回覧板を見たことがなかったのですが、初めて回ってきたときはとても驚きました。宇都宮に来てからは近所の人とあいさつを交わすようになり、暮らしの中で人と交流する機会が増えたと思います。しかし、人間関係が近過ぎず遠過ぎず、程よい距離感があるのも、「とかいなか」宇都宮の魅力だと思っています。

回覧板を見たことがなかったのですが、初めて回ってきたときはとても驚きました。宇都宮に来てからは近所の人とあいさつを交わすようになり、暮らしの中で人と交流する機会が増えたと思います。しかし、人間関係が近過ぎず遠過ぎず、程よい距離感があるのも、「とかいなか」宇都宮の魅力だと思っています。

番外編

愉快ランキング

総務省家計調査(平成25年)

餃子支出額(※)

全国 **1位**

4,919円

(全国平均 2,043円)

2位 浜松市 4,155円

3位 京都市 2,874円

自転車購入額

全国 **1位**

9,448円

(全国平均 3,221円)

2位 相模原市 8,315円

3位 福岡市 8,213円

イチゴ支出額

全国 **1位**

4,963円

(全国平均 3,163円)

2位 仙台市 4,491円

3位 横浜市 4,256円



◎ミヤリー豆知識 ※餃子支出額(総務省家計調査) スーパーやコンビニエンスストアで購入した、生餃子と焼き餃子が調査対象だよ。餃子店で食べた餃子やテイクアウトした餃子、冷凍餃子は調査対象外なんだって。